

令和5年度第1回半田市児童館運営委員会議事録

| | | |
|--|---|---|
| 開催日時 | 令和5年6月1日(木) | 10時から11時20分まで |
| 開催場所 | 半田市役所3階 会議室303, 304 | |
| 会議次第 | 1. あいさつ 2. 議題 (1) 令和4年度児童館利用状況について [資料1] (2) 令和5年度児童館年間行事予定について [資料2] (3) その他 | |
| 出席委員 (欠席委員) | 【出席委員】 和田 さとみ、山本 宏巳、村田 いづみ、徳山 香代、中井 朋子、百田 昌弘、荘司 京子、加藤 金吉、間瀬 さとみ、渥美 隆 【欠席委員】 加藤 智子、石川 正喜、杉江 正憲、近藤 孝子 | |
| 事務局 | 子ども未来部長 伊藤 奈美 子ども育成課 主査 瀧田 裕樹 | 子ども育成課長 小林 徹 子ども育成課 事務員 石原 未唯 |
| 児童センター 館長 | 成岩児童センター館長 大嶽 浩幸 半田児童センター館長 近藤 正勝 板山ふれあいセンター館長 都築 佳子 有脇児童館館長 神戸 伸公 | 亀崎児童センター館長 間瀬 浩平 乙川児童センター館長 間瀬 直人 青山児童センター副館長 上杉 直美 |
| 次第 | 議 事 概 要 | |
| | ○子ども未来部長あいさつ | |
| 議題(1) 令和4年度児童館 利用状況について [資料1] | <p>項番1、「令和4年度児童館利用状況について」は、資料1をご覧ください。</p> <p>資料1の表は、利用区分別の利用者数をまとめているもので、各館について令和3年度から令和4年度までの利用者数の推移を2段に分けて記載しています。令和4年度の利用者については、令和3年度の利用者数の合計と比べると約7%増加しております。その前の令和2年度と令和3年度の比較でも約17%増加しておりましたので、引き続き、利用者数については回復傾向にあります。</p> <p>これに加え、今年の5月8日より新型コロナウイルス感染症が2類から5類への区分変更により、大きく制限が緩和され、今後ますます利用者数も回復していくものと想定しております。</p> <p>また、成岩児童センター、亀崎児童センター、半田児童センターの令和3年度の開館日数につきまして、令和4年度第1回の会議資料にて「265日」と報告させていただきましたが、正確には「269日」でした。大変申し訳ありませんが、今回の資料にて修正をさせていただいたということで、ご了承いただければと思います。</p> <p>(委員長) ありがとうございました。</p> | |

| | |
|---|---|
| | <p>この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>(委員長) 資料 1 左下の合計欄の「平成元年度」とは、「令和元年度」の間違いですか。</p> <p>(事務局) はい。令和元年度の間違いです。失礼いたしました。</p> <p>(委員長) ボランティア団体会員数について、青山児童センター以外はボランティアの会員数が減少していますが、これはやはり子どもが減少傾向にあるからということでしょうか。</p> <p>(子ども未来部長) 館によってそれぞれ少しずつ事情が違うと思います。特に減少が大きい乙川児童センター、板山ふれあいセンター、有脇児童館の館長より事情をご説明いただきたいと思います。</p> <p>(乙川児童センター館長) 最近働き始めた親御さんが多く、行事等に参加することが難しくなっています。また、年齢的にボランティアを続けることが難しいという方もおり、やめられた方が若干名いらっしゃいます。</p> <p>(板山ふれあいセンター館長) 乙川児童センターと同様です。また、働き出すお母さん方が多いため以前あったサークルを一つ減らしたことも要因の一つかと思います。</p> <p>(有脇児童館長) 子どもの親御さんが主なボランティア団体の会員だと思いますが、小学校の児童数が減少傾向にあるため、それに伴いボランティア数も減少していると思われます。また、コロナ禍により参加できる行事が少なかったことも要因の一つであると思います。</p> |
| <p>議題（２）令和 5 年度児童館年間行事予定について [資料 2]</p> | <p>～資料 2 に基づいて、各児童センター・児童館の館長から説明～</p> <p>(委員長) ありがとうございました。 この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>(委員) 半田児童センターの年間行事予定について、グラウンドゴルフ大会を年 2 回開催される予定</p> |

とのことですが、グラウンドゴルフ大会に参加した子どもたちの反応を教えてください。

(半田児童センター館長)

グラウンドゴルフ大会に参加する児童は年々減ってきておりますが、一度参加するとグラウンドゴルフが面白いようで、同じ児童が毎年参加しているという状況です。グラウンドゴルフ部の皆さんにはルール等を教えていただけますので、地域の方と一緒に楽しめる良い行事だと考えています。

(委員)

ありがとうございました。

青山児童センターでもこのような行事が開催できるといいと思います。

(委員長)

有脇児童館では、グラウンドゴルフのサークルがあり週3回ほどグラウンドゴルフをやっています。以前、有脇児童館の行事でお年寄り子ども達と一緒にグラウンドゴルフをしたと思います。

(有脇児童館長)

「ニコニコクラブ」というサークルがあるので、指導者として依頼をし、昨年グラウンドゴルフ大会を開催しました。今年も、おそらく2回目のスポーツ大会になると思いますが、グラウンドゴルフ大会を開催する予定です。

(委員)

板山ふれあいセンターの年間行事予定について、3月の行事で愛町 Jr マーチングバンドと、12月の行事でママブラスおひさまハーモニーという団体の記載がありますが、こういった団体なのでしょうか。

(板山ふれあいセンター館長)

まず、愛町 Jr マーチングバンドについては、本部が板山にあるということで繋がりがあります。ママブラスおひさまハーモニーは、毎週木曜日に板山公民館で練習をされており、現在約40名のお母さん方がブラスをやられています。

(委員)

ありがとうございました。

(委員)

令和元年度は全体で約14万人の利用者があり、令和4年度についてはまだそこまでは回

復していないところですが、今後色々な制限が取れていくと、やはり目指すところとしては14万人などの、コロナ前の数字になるのでしょうか。また、目指すにあたり、どういったサポートや支援を考えているのかをお聞きしたいです。

(子ども育成課長)

過去の実績として14万人という数字がありますが、状況が変わってきておりますので、まずは利用者が児童センターへ戻ってくるような流れを作りたいと考えています。数字が増えていくことはもちろんありがたいですが、皆さんに安心して来ていただけて、周りにお声がけをいただけて、少しずつ輪が広がっていくように、できることからやっていきたいと思っております。また、多くの方にきていただけるようなイベントを開催することで一気に来場者が増えるので、数字は上がると思っています。

(子ども未来部長)

少し補足をさせていただきます。コロナ前の記録でもやはり少子化の傾向があり年々利用者は減少していました。また、コロナ対策が緩和されてきてはいますが、まだマスクをしている子どもや、親御さんも慎重な方がいますので、急に利用者が増えることはないと思われそうですが、行事などで楽しみを提供させていただいて、当時の賑わいを取り戻していきたいと思っています。

また、近年子育て中のお母さん方の閉塞感がすごく高まっていて、外に出てお話ししたいというニーズがありますので、地域子育て支援拠点でもある板山ふれあいセンターと青山児童センターにはそういった事業にも力を入れていただいております。

現在、半田市では子育て支援事業検討プロジェクト会議を開催しており、子育て中の委員の皆様にご参加いただき、どのような支援が必要なのかを検討していただいております。その中で、やはり気軽に立ち寄れる場所や、少し自分が休憩したいので一時的に子どもを預かっていただけるような取り組みがあるといいなとか、児童センターのお手洗いがもっと綺麗になるといいなとか、様々なご意見をいただいております。予算がありますのでなかなか一挙にはできませんが、一つ一つ進めさせていただき、また、現在でも発生している児童への虐待防止などにも力を入れていきたいと考えております。

(委員)

ありがとうございました。

(委員)

各児童センターで規模が違いますが、青山児童センターの花・はなまつりのように、多くの参加者を集めた方法をお聞きしたいです。学校で配布される児童センターだよりが定番かと思いますが、今ですとSNSやインターネットを活用されているのか、どのように募集をされているのでしょうか。

(青山児童センター副館長)

小学校、幼稚園、保育園には、センターだよりを配布しております。やはり顔を見て、お話をし、チケットもお渡ししたいので、基本的には来館申し込みという形にしております。また、成岩第3区のメルマガのようなものがあるので、登録していただいた方には児童センターの様々な情報を配信しております。その他、回覧板でも広報をしております。

(子ども未来部長)

少し補足をさせていただきます。青山児童センターと板山ふれあいセンターにつきましては、地域の皆様に運営を委託しております。他の5館は市の直営なので、職員は館長をはじめ3名ずつの配置ですが、青山児童センターについては成岩第3区に委託をさせていただいておりますので、自治区の方のご協力が得られるというような状況です。そういった点が、公営館と地域に委託をしている館との運営状況の違いとなっております。

(委員)

ありがとうございます。

(委員長)

成岩児童センターの「こわ〜いおはなしかい」について、どなたがお話をされるのでしょうか。また、亀崎児童センターで亀崎中学校の吹奏楽部に演奏を依頼するとのことですが、中学生は何名ほど参加されるのでしょうか。

(成岩児童センター館長)

「おだんごばん」という団体の方々にお話をさせていただきます。通常の読み聞かせでは絵本を使いますが、「おだんごばん」は、絵本は使用せず言葉だけで表現をするという特徴があります。

(委員長)

団体の方は女性の方でしょうか。年齢はおいくつくらいでしょうか。

(成岩児童センター館長)

女性で、ベテランの方々です。

(亀崎児童センター館長)

亀崎中学校の吹奏楽部ですが、昨年は3年生が既に引退しておりましたので、1, 2年生の部員20数名に参加していただきました。今年度につきましては、現時点で学校から参加人数の連絡をいただいていないため不明ですが、おそらく昨年と同程度の20数名になるかと思われま

議題（３）その他
[資料３]

（事務局）

事務局から１点、報告します。

「令和５年度児童センターの施設整備」について、資料３をご覧ください。

一覧表にございますように遊具の購入やカーペットの張替えなどを行ってまいります。また、令和５年度より児童センターにおいて使用済み紙おむつの処分を実施するため、おむつ用の収集箱を購入いたします。また、資料に記載はありませんが、公共施設のLED化については環境課が中心となり進めている状況です。夏休みには小中学校で実施予定となっており、完了次第残りの公共施設において実施される予定です。早くも秋以降となりますが、令和５年度中には完了する見込みとなっております。

～運営委員の皆様一言ずつご発言をいただく～

（委員）

今年度の計画をいろいろとお聞きしまして、ますますの盛り上がりを期待しております。同時に、コロナ時とは違って、児童センター以外の他のイベントや、出かける機会も増えてきておりますので、それらよりも魅力ある企画を期待しております。

飲食も解禁され、やはり子どもたちは食べるのが楽しいと思いますので、コロナ対策に考慮しながらも、飲食の企画の開催を期待しております。

また、自分が運営委員をしている児童センターのお便りはいただけますが、他の児童センターのお便りも見てみたいと思いますので、次回の運営委員会で見せていただけるのであればお願いしたいと思います。

（委員）

各児童センターの年間行事や取り組みの説明をお聞きして、飲食の伴うものが解禁されたということを強調される児童センターが多く、飲食を伴う取り組みは非常に参加者のニーズが高い取り組みだということを感じました。

ただ、どの行事にしても下準備が大変で、苦勞が多いと思います。飲食を伴う行事では、さらに数段準備が大変なのではないかと思います。環境整備にしろ、衛生面のことにせよ本当に苦勞が多いと思います。そういうものに常にチャレンジしていただいて、親しみのある活動をされているということに敬意を表したいと思います。ありがとうございます。

（委員）

先日息子が乙川児童センターのデイキャンプに参加して、今年は飲食が解禁されて焼きマッシュマロを食べたそうでとても喜んでいたので、飲食の行事は強いなと感じました。他の児童センターでも飲食の行事が増えているので、乙川児童センターでももっと増えるといいと思いました。

板山ふれあいセンターと青山児童センターの行事がとても充実していると感じました。私は子育てがひと段落していますが、もっと小さい子どもがいたら、絶対に参加したい行事ばかりだと思いました。また、お茶が飲めて他のお母さん達とお話ができるカフェや、子どもの成長をスライドショーで見ることができるという青山児童センターのちびっこ発表会は、とても良いアイデアだと感じました。乙川でもぜひやってほしいと思いました。

(委員)

半田児童センターのボランティア団体の会員数がとても少なくなっていて驚きました。私が子育てをしていた頃は、現在の3、4倍はいたと思います。外部のボランティアの方の協力も得ながら行事を行うと、また賑わいが戻ってくるのではないかと思います。

(委員)

それぞれの児童センターの内容を見てみると、「親子」や「幼児」、「ちびっこ」などの言葉がよく出てきます。国から少子化や子育てに関する様々な施策が出ていると思いますが、それにマッチした事業をさせていただいており、本当にありがたく思っています。また、青山児童センターで8月に行う不審者訓練では、職員が寸劇を行う予定です。そういった子どもたちが見て、どのように対応するのかを自分で考えられるような機会を、今後も作ってほしいと思います。

(委員)

コロナ禍で大変な時でも、知恵を出しあって行事を続けてきていただき、本当にありがたいと思います。中でも、板山ふれあいセンターで親御さんに向けてそれぞれの年齢に合った講座をさせていただけることは、この核家族化の時代の中でニーズに合ったものだと思います。また、仕事をしている親御さん方も多いので、本当にほっとできるような児童館になっているんだと感じました。

(委員)

楽しい行事がたくさんあり創意工夫がされていて、コロナ禍も落ち着いてくるということで今後かなり盛り上がっていきけるかなと思います。

ただ、コロナ禍になって一度外に出ない習慣、家にこもる習慣がついてしまったところから、どこまで戻ることができるのかということと、仕事の関係なども含めてまだ外に出てこれない人たちに対しどのようにアプローチをしていくかということが重要だと思います。そういった方々に児童センターを知ってもらい、楽しそうというのがしっかりと伝わって、心理的なハードルを何とか乗り越えて、足を運びたいくなるようにしていけたらと思います。

仙台市では児童館の SNS を使って告知などを行っているそうで、掲示板や紙ベースだけでなく他の方法でも行事の様子などの情報が届けば、来館者は増えていくと思います。また、情報が届いていても心理的に目に入っていないような人たちに、どのように届けるかということも考えて

| | |
|------|--|
| | <p>いきたいです。</p> <p>(副委員長) まだコロナが今後どうなっていくかわからないため今年も大変なことがあるかと思いますが、なるべく早く元通りになると嬉しいです。</p> <p>(委員長) 昨年度の会議で、「知多No.1の子ども支援の半田市を目指す」というお言葉をいただいたと記憶しています。本日は、はじめのあいさつで伊藤部長より「子ども真ん中社会を目指す」というお言葉をいただきました。子どもたちが楽しく育っていくために、地域の児童センター、児童館というのはとても大事な位置にあると思いますので、館長の皆さんを中心に、今年もまたよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>(委員長) 以上で議事を終了いたします。事務局へお返ししますので、よろしくお願ひします。</p> |
| 閉会 | <p>長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。これをもちまして、第1回児童館運営委員会を閉会いたします。皆様にお集まりいただくこの会議は、年2回を予定しております。2回目につきましては、年度の後半を予定しておりますので、日程が決まり次第ご案内させていただきます。本日はありがとうございました。</p> |
| (終了) | |